

2011年度 政務調査費事業報告書

日本共産党県議団

調査研究費 総合計 2,294,331円

—主な調査研究費—

5月18日 栄村地震の被害調査

3月12日発生 of 県北部地震について、栄村での被災状況を調査した。島田茂樹村長から村役場で被災の状況や村民の安否状況、田畑への影響、キノコ栽培など地場産業への影響、村の対策などについて説明を受けた。また、県への要望について伺った。

その後、中条川上流の地滑り及び土石流発生地点、仮設住宅、被災農地等の現地を調査した。

参加者：石坂、高村、和田、両角、藤岡議員、会派職員

合計 26,070円

5月25日 大町市町川発電所調査

大町市の町川発電所の小水力発電について、市の担当者から設置の経緯、目的、効果等の説明を受けた後、現地を視察した。同発電所は農業用水から取水し、その電力は全て市の施設で消費する「地産地消」となっている。また市内NPO「地域づくり工房」において、自然エネルギーのあり方について懇談した後、市内3か所の小水力発電所を見学した。

市・民間に共通して、水利権の取得や施設の維持管理などが問題となっている。

参加者：和田、両角、会派職員

合計 14,010円

6月2日~3日 飯田市・下伊那郡長谷村の自然エネルギー発電調査

6月2日、飯田市役所において飯田市の「環境モデル都市」の先進的な取り組みについて説明を受けた。又、おひさまエネルギーファンド株式会社の原社長より、「おひさまファンド」について説明を受けた。その後、大規模太陽光発電所「メガソーラーいいだ」を視察した。

翌日、長谷中山集落水力発電や伝兵衛井見沼発電など、農業用水を利用したマイクロ水力発電を見学し、問題点や課題をお聞きした。

参加者：石坂、小林、和田、両角、藤岡、会派職員

合計 92,200円

6月7日 福島県羽鳥ダム調査

3月11日に発生した東日本大震災によって損壊した羽鳥ダムについて、農林水産局阿武隈土地改良調査管理事務所、羽鳥ダム管理所長から説明を受けたのち、日本共産党福島県議団と、震災の現状、復興状況について懇談した。

参加者：石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡、会派職員

合計 187,133円

6月11日 浜岡原発調査

中部電力唯一の原子力発電所である静岡県の浜岡発電所は、東海地震の震源域の真上にある、世界で最も危険な原発として大いに問題があるとして、政府の指導を受け中部電力が停止を決定している。

現在の発電所の状況を調査するとともに、地元住民の意見を聴取した。

参加者：石坂、和田、藤岡議員

合計 53,235円

7月26日 伊那市春近発電所・西天竜発電所調査

県企業局管理の春近発電所で起きた冠水事故について現地調査を行った。

あわせて、西天竜発電所の見学を行った。

参加者：石坂、小林、高村、和田、会派職員

合計 20,900円

7月28日 小布施町住宅リフォーム助成制度調査

小布施町が行っている「住宅建築工事促進補助金制度」について、その実施要領や利用状況、経済波及効果などについて、担当の地域整備グループより説明を受け懇談した。

参加者：石坂、高村、和田、両角、藤岡、会派職員

合計 19,680円

8月10日 千葉県浦安市の液状化調査と千葉県環境研究センター調査

浦安市の市会議員の案内で、東日本大震災の液状化被害の現地調査を行った。又、被害対策や新たな防災計画について、県や市の取り組みを調べた。

千葉県環境研究センターで地質の研究員より、過去から現在までの液状化災害の状況と地質的研究成果をお聞きした。

参加者：石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡、会派職員

合計 126,010円

9月9日 反貧困ネット信州と県との懇談会

反貧困ネット信州と県との懇談会に出席し、健康福祉部と商工労働部からのパーソ

ナル・サポート・モデル事業や絆再生事業についての説明を聞いた。

又、反貧困ネットの各団体からの報告と県への要望を聴取した。

参加者：坂、小林、高村、両角、藤岡議員

合計 25,130円

9月22日 岩手県葛巻町自然エネルギー調査

エネルギー自給で災害に強いまちづくりを目指す、沿岸自治体のモデルとなる葛巻町を調査。町担当者から説明を受け、ゼロエネルギー住宅や木質バイオマスガス化発電施設、風力発電施設などを見学した。

参加者：石坂、小林、和田、両角、藤岡議員

合計 198,718円

10月25日～26日 秋田県住宅リフォーム助成制度調査

大きな経済波及効果を生み成功している、秋田県の住宅リフォーム助成制度を県庁に伺い調査した。また、秋田県における学力向上の取り組みについてお聞きし意見交換した。

参加者：石坂、小林、高村、和田、藤岡議員、会派職員

合計 323,710円

10月27日 長野県建設業協会との懇談会

入札制度の問題点や公共事業のあり方、建設業界の経営状況について意見交換し、要望等をお聞きした。

参加者：石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員

合計 14,200円

10月30日 浅川ダム断層調査

県が行った産業技術総合研究所の研究員を伴った、F-V断層など活断層の確認作業に立ち会いを行い、説明を受けた。

又、他の地質の専門家らとともに独自の調査を行った。

参加者：石坂議員

合計 1,050円

10月31日 浅川ダム断層調査結果説明会

産業技術総合研究所の佃氏より、県に対し、F-V断層の調査結果について説明が行われ、同席して見聞した。

参加者：小林議員、会派職員

合計 9,800円

1 2月21日 国会にてレクチャー

国土交通省、厚生労働省、文部科学省にて下記についてレクチャーを受けた。

浅川ダムへの国からの補助金について

リニア新幹線の国の方針と進捗状況

乳幼児医療費の窓口無料化について

30人規模学級について

参加者：石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員、会派職員

合計 93,380円

1月12日～13日 柏崎刈羽原子力発電所調査

東京電力柏崎刈羽原子力発電所の調査を行った。

また、地元住民の皆さんと意見交換を行った。

参加者：石坂、小林、高村、和田、両角、会派職員

合計 44,080円

2月7日～8日 高速増殖炉もんじゅの視察と国会レクチャー

7日 日本原電敦賀→関西電力美浜→高速増殖炉もんじゅで見学、説明を受ける。

8日 経済産業省、文部科学省より豪雪対策などのレクチャーを受ける。

参加者：石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員、会派職員

合計 334,980円

2月13日 民医連看護部会との懇談

看護、介護を取り巻く状況について調査し、要望意見をお聞きした。

参加者：石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員

合計 19,530円

3月21日 佐久市の放射能ガレキ処理についての調査

佐久市のフジコーポレーションの放射能汚染物質を含む廃棄物の処理状況について調査した。

参加者：石坂、和田、両角、藤岡議員

合計 12,790円

3月27日～28日 宮城県、岩手県の震災ガレキ処理

震災後のガレキ処理の状況を両県の県会議員や地元の市会議員とともに調査。

参加者：石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員

合計 301,105円

研修費 総合計 1,413,863円

—主な研修費—

6月15日 フォッサマグマと県内の活断層についての研修 (県議団主催)

参加者: 石坂、小林、高村、両角、藤岡議員

合計 29,510円

8月6日 浅川ダムと地震シンポジウム (県議団主催)

参加者: 石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員

合計 303,127円

8月22日~24日 第9回地方議員交流会 (第9回地方議員交流会実行委員会主催)

参加者: 高村議員

合計 59,660円

10月11日 2010年度一般会計決算についての学習会 (県議団主催)

参加者: 石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員、会派職員

合計 36,250円

11月14日 浅川ダム断層学習会 (県議団主催)

参加者: 石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員、会派職員

合計 39,380円

1月21日 自治体政策セミナーinつくば

参加者: 石坂、和田、藤岡議員

合計 113,506円

1月29日 浅川ダムシンポジウム (県議団主催)

参加者: 石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員

合計 371,540円

2月4日 住宅リフォーム助成制度交流集会 (県議団主催)

参加者: 石坂、小林、高村、和田、両角、藤岡議員

合計 175,425円

3月31日 浅川ダムF-V断層の学習会 (県議団主催)

参加者: 石坂、小林、高村、和田議員

合計 47,740円

会議費 総合計 588,620円

資料作成費 総合計 119,620円

資料購入費 総合計 483,269円

広報費 総合計 6,586,896円

事務費 総合計 1,080,649円

人件費 総合計 6,480,911円

以上